

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	関西支部	(2)記載者氏名:	重廣恒夫	会員番号:	7931	事務局整理記入欄	関西 - 28
分水嶺区分	W278戸倉峠~W280波佐利山	(3)山行日:	2004年	10月	16日	(4)天候	晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

松波幹夫	12791						
山内幸子	10380						
重廣恒夫	7931						
重廣元子	非会員						
計				4名			
計				名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	戸倉峠から北の未踏査部分を往復し稜線を南下、赤谷の頭を過ぎると南西方向に進み波佐利山に至る												
アプローチ:	宝塚から中国自動車道に入り、山崎ICを降りて国道29号線を北上、新戸倉トンネルを抜けて旧道に入りトンネル前に駐車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	旧戸倉トンネル	戸倉峠	134	30	28.59	35	17	48.38	812		7:10		8-
分水嶺到達点	P985	戸倉峠	134	30	40.96	35	18	6.43	985	8:00	8:00	B-2	
W278	新戸倉トンネル	戸倉峠	134	30	36.30	35	17	46.30	934	8:28	8:35	B-2	
	戸倉峠	戸倉峠	134	30	36.40	35	17	43.80	895	8:42	8:50	B-2	
W279	P1143	戸倉峠	134	30	46.84	35	17	11.60	1,142	10:02	10:10	B-2	9-
	赤谷の頭	戸倉峠	134	30	48.17	35	16	48.28	1,219	10:49	11:15	B-3	
	P1087手前	戸倉峠	134	30	8.83	35	16	11.24	1,072	15:00	15:15	B-3	
	P1166	岩屋堂	134	29	35.16	35	15	56.36	1,153	16:20	16:30	B-3	
分水嶺離別点W280	波佐利北	岩屋堂	134	29	23.78	35	15	39.96	1,181	17:05	17:05	B-2	
歩行終了点	波佐利山	岩屋堂	134	29	23.40	35	15	41.50	1,190				
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間37分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W278		基準点		良好	一級基準点No.634は新戸倉トンネル上に設置
W279	落折	2	測定せず	良好	
W280	波佐利	3	測定せず	良好	

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

旧道は兵庫県側は途中で車止めがあるが、鳥取県側はトンネル手前まで車の通行・駐車が可能。
旧戸倉トンネルは両側が柵で閉鎖されている。

(9)水および植生に関連した特記事項

P1143付近は鳥取県側は杉の植林であり、ブナ林が続き踏み跡も明瞭であるが、赤谷の頭手前の広いピークからは猛烈なチシマ笹となる。

(10)その他の特記事項

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: